

漢字教育の教材について

幼児の漢字教育が始まって、今年で十年になろうとしています。初めは、大阪の数か所の幼稚園で始められた教育が、非難にもめげず、隆々と育ち、今は北海道から沖縄まで、数百の幼稚園が実践してくれるまでになりました。

石井方式漢字教育は、従来の漢字教育とは根本的に違うことを、世間の人々はなかなか理解してくれませんか、まだまだ茨^{いばら}の道が続くことを覚悟しています。しかし、真理は必ずいつかすべての人に受け入れられることを信じています。

真理かどうか、頭の中で考えていただけでは決して解りません。実践してみてください。実践してみて、効果がなかったらやめて下さい。非難して下さいもよろしい。しかし、実践してみないで、感情的に納得できないからというので非難するのはやめて頂きたいと思います。

大阪の登竜館の田中登社長は、十年前、私のこの運動のために、幼稚園児のための“漢字の絵本”を毎月刊行してくれました。“ぎんのすず”から“花園文庫”。現在は、“新版・花園文庫”を毎月刊行しています。

これは一つの物語りでまとめられています。別に幼稚園の生活に合わせた“漢字の絵本”も毎月刊行されています。

なお“俳句かるた”“楽しい漢字カルタ”“漢字カード”など、楽しんで漢字が学習できる教材を刊行しており、今後も企画する予定でいてくれます。ただ、一般に市販されていませんので、御希望の場合は左記にお問合わせ下さい。

〒五四三 大阪市天王寺区上本町六 - 三 - 三一 - 一三〇一

株式会社登竜館 電話 六(七七三)三九三一～二番

また、東京都豊島区東池袋一～三二～四藤原ビルニFの日本幼児教育出版株式会社は、“漢字で遊ぼう”という幼児のための漢字教育教材を開発してくれています。